

熊本地震の記憶と教訓

～あの日を忘れない～

●問い合わせ先 安全安心課 ☎096-248-1555

令和8年4月、熊本地震の発生から10年となりました。本市にも甚大な被害をもたらした未曾有の地震を風化させないよう、当時の状況を振り返ります。

1 地震の概要

平成28年の熊本地震は、観測史上初めて、同一地域で震度7の地震がわずか28時間の間に2度発生しました。

前震 4月14日(木) 午後9時26分発生
県内の最大震度7、**合志市 震度5強**

本震 4月16日(土) 午前1時25分発生
県内の最大震度7、**合志市 震度6強**



※熊本災害デジタルアーカイブより抜粋

震度1以上の地震の回数は4,400回を上回っています(平成30年4月30日時点)。

このような地震活動の長期継続により、避難の長期化や、車中泊などの避難所以外に避難する人の増加を招きました。

2 地震の被害

熊本地震は、熊本市、上益城地域および阿蘇地域を中心とした県内に、多数の家屋倒壊や土砂災害など、甚大な被害をもたらしました。

被害状況

県内全体 人的被害 死者275人(直接死50人、災害関連死225人)、重軽傷者2,753人
住家被害 約19万8,000件
被害総額 3兆7,850億円

合志市 人的被害 死者7人(直接死0人、関連死7人)、重傷者27人、軽傷者56人
住家被害 8,088件(全壊48件、大規模半壊73件、半壊808件、一部損壊7,159件)
道路被害 道路陥没、法面崩壊など ※その他、農業施設、上下水道施設で破損や機器故障
被害総額 202億9,045万円(平成28年6月30日時点)

本市では、施設の天井崩落や棚上物の転倒および落下、道路陥没や土砂流出などの被害が発生しました。



民家の一部損壊



市役所執務スペースの書棚転倒



神社の階段や石塔の倒壊

3 避難状況、被災者支援

4月16日の本震発生から翌17日朝までに、県内の避難所には多くの人々が避難しました。このため、避難所では生活物資の不足が深刻化しました。本市でも、避難所や市総合センター「ヴィーブル」駐車場での中泊など、多くの人々が避難しました。市では避難した被災者の支援として、民間企業や国からの支援物資を提供しました。この他、自衛隊や消防団による支援活動や、キッチンカーによる食事の提供、災害ボランティアによる避難者支援など、多くの皆さんの献身的な支援がありました。

避難状況 (平成28年4月17日時点)

県内全体 避難所数 855カ所
避難者数 約18万3,000人

合志市 避難所数 27カ所
避難者数 6,629人
※車中泊者を除く

避難所での被災者支援

食事の提供や健康観察など、避難生活の支援を行ないました。

- ① 須屋市民センターの避難所
- ② 須屋市民センターの車中泊の様子
- ③ 支援物資の受け入れ
- ④ 自衛隊による問診
- ⑤ 消防団による物資の運搬
- ⑥ キッチンカーによる食事の提供



4 地震からの復旧・復興、防災対策

熊本地震の教訓から、災害時の体制整備や防災啓発活動を行なっています。

体制整備

- ・防災拠点センターの整備
- ・防災備蓄品の配備
- ・市総合防災訓練の実施

防災啓発活動

- ・市内防災団体と連携した防災啓発活動の実施
- ・『日頃からの災害への備え』の広報紙への掲載、多言語対応のハザードマップなどを市ホームページに掲載



①



②



③

- ① 黒石防災拠点センター
- ② 市消防団による保育園児への防火の紙芝居
- ③ 市防災士連絡協議会が自主防災組織の訓練支援

熊本地震から10年の節目に防災に関するパネル展示を行ないます

5月12日(火)～31日(日)、市総合センター「ヴィーブル」ロビーで、熊本地震の被災状況や、市の防災に関するパネル展示を行ないます。お立ち寄りのときはぜひご覧ください。